



大和市民活動センターは 多くの人の出会いの場です



『大和市民活動センター・フォーラム』 『カッコーフェスタ2006』(活動交流フェスタ) を開催しました

月にイベントが2つ並びました。
皆さんと一緒に！市民活動の輪がひろがってきました。

11月4日(土)の
『大和市民活動センター・フォーラム』(2ページ目)

11月11日(土)・12日(日)やまと産業祭りにあわせた
『カッコーフェスタ2006』(3ページ目)

大和市民活動センターは 市民活動の皆さんが担っています。運営も市民ボランティアの仲間(協働の拠点運営委員会)で行われています。
「大和市民活動センター」も”協働事業”の一つとして発足しました。

今回 第2期の
『協働の拠点運営委員募集』(4ページ目)

をご紹介します。

のご案内をいたします。

創ろう新しいコミュニティ

2006.11.4(土)

大和市民活動センター・フォーラムを開催しました

第1部 10:00~11:00 <基調講演>



「地域が抱える課題と市民活動」
NPO フュージョン長池理事長
富永一夫

第2部 11:00~12:30 <パネルディスカッション>

“市民活動の取り組み・課題・改善など”
アドバイザー 富永一夫



<<パネラー>>

飯塚栄子
引地川かわくんだり実行委員会



石原啓子
ワーカーズコレクティブ想



大瀧昭徳
渋谷区西市民自治区事務局



岡島順子
まんまの自分

第3部 12:30~14:00 <交流・懇親会>

11月4日(土)に大和市勤労福祉会館3Fホールにて開催されました。大和市民活動センターフォーラム「見つけよう地域課題 創ろう新しいコミュニティ」は70名近くの方にご来場いただき、おかげさまで大盛況のうちに終了しました。

パネルディスカッションでは大和市で地域課題に取り組んでいる市民活動団体の実践を報告し、また、お互いが持つ課題を出し合い考えることができました。基調講演の富永一夫氏からは、これからの活動に見通しを持って進めることができる人集め、資金調達等のヒントをいただきました。

従来、市民活動は女性パワーで行われている印象が強かったのですが、潜在的担い手(意志のある人)としての団塊の世代、その前後の男性達も多にいるという実感をつかむことができました。そしてなんとといっても、交流会では次につながる顔の見える関係づくりができたと確信しています。

市民活動センターホームページに講師・パネラーが話された内容(概要)、当日の様子(写真)を紹介していますので、ぜひご覧ください。

司会進行 協働の拠点運営委員会副会長 関根孝子

~<フォーラム>より~

<基調講演> 「地域が抱える課題と市民活動」
コミュニティの定義は7つ。(0番=原点)家族(1番)ご近所 (2番)助け合い (3番)生活圏(4番)近隣都市 (5番)日本列島 (6番)国連東アジア
夫婦こそが究極の協働パートナーというところから始まり、個人を中心に同心円的に活動をしていったら、そこで抱える問題というのは国際社会に通じるものであった。その大きなキャパシティの中で、自分はどのあたりに存在したらいいのか。現在、心地いいところを見出していただければいいと思う。

私の場合は団地管理組合に理事に就任することが地域コミュニティのデビューの第一歩となりましたが、皆さんがデビューされる時にも町会でも自治会でもいい、何か具体的なきっかけが必要です。

(4番)の「近隣都市コミュニティ」とは「生活圏コミュニティ」の外を飛び出して近隣都市の人々と交流するコミュニティ。地域活動の成果が近隣都市の人との交流を促進する形となり、今回も大和市に呼ばれたように、各地での交流が進んでいる。

~<パネルディスカッション>より~

“市民活動の取り組み・課題・改善など”

(飯塚氏) 引地川はきれいな清流を取り戻し、羽黒トンボが戻り、子どもと一緒に遊べる川になりつつある。資金調達と、人をどうやって巻き込んでいくかが課題である。

(石原氏) 大和市を4つのブロックに分けて、月約200人のワーカーが働いているが人手不足。最近は介護保険以外の「助け合い」活動へのSOSが増えている。健康体操を始めたことでサロンへの要望があることがわかり、サロンを作りたいと夢に描いている。

(大瀧氏) 空き店舗を利用した拠点をオープンした。地域での情報の発信、共有化などパートナーシップを強めることが大切。地域に暮らす人たちの話し合う場の提供を目指している。

(岡島氏) ひきこもり青年たちへの伴走的支援をするとき、助けられた方も自分なりの持っているものでほかを助けていくような、地域社会での相互の助け合いの循環をどうつくっていくかということ。生きた形でお金を含めた社会資源を還流させていくことを考えている。

(富永氏) 「風土」という言葉がある。今回、「土」の人:大和市民に対して私は外から来た「風」の人。風を吹かせて土の人のお役にたち、土の人からお土産を持って帰る。自分の手元に何らかの話がもたらされるのは社会資本を集める一つの方法だと思う。



2006.11.11(土) - 12(日)

カッコーフエスタ (活動交流フェスタ) を開催しました

「皆さんと一緒にカッコーフエスタ」

長い3ヶ月でしたが「ひとり一人ができること」をそれぞれ発揮していただき、皆さんのご協力のお陰でなんとか成功にこぎつけました。「カッコーフエスタ」は“全員が同じ目標に向かって、でも全員違うことをやっている”そういう企画でしたので立場によって感じ方も様々と思います。

終わったら「来年もやりましょう」「来年への課題は？」と聞かれ、そう言えば反省もたくさんありますが、“皆さんに楽しんでいただけた”企画は「成功」と言えると思っています。関わってくれた数え切れない方々、私たちと一緒に楽しんで下さってありがとうございました。

あの手この手で盛り上げ隊 隊長 山田裕子

暮らし・食生活

食のアトリエ
食生活改善推進協議会
久田緑地くらぶ
なないろばたけ農場
相模友の会



いろいろな所で市民一人一人イキイキするっていいですね



絵本の読み聞かせコーナーがあって子どもがよろびました

子育て

てだのふあ

NPO法人 地域家族しんちゃんハウス
NPO法人 ワーカーズ・コレクティブもこもこ
ベビー&チャイルドシッター とこちゃん



ものづくり

引地川ハグロトンボ調査隊
おりがみサークル
ふくろう工房
やまとケナフの会

工作体験を見て楽しかったです



身近な川なのできれいになったら良いなと思った。きれいにする活動にいつか参加してみたい

国際交流

ハンゲル勉強会
かたつむりの会
日本語教室 やまと・ともだち
NPO法人 地球の木

ソウル行ってみたい！写真見てたら旅行してるみたい

環境

魚譚人と引地川水援隊
恵み豊かな緑と水を取り戻す会
引地川水とみどりの会
引地川・下福田子どもの水辺協議会
川と海の環境を守る会

身近に老若問わずがんばっている人を見て安心しました



環境を守る取り組みが市民レベルに広がるとよいですね



スペシャルサポーター

Y ~Y dash!! ~
引地台中学校
泉の森オリエントミーの会
かながわ県央マンション管理組合ネットワーク
NPO法人 ココロコ
大和市役所 市民活動課

健康・福祉の相談、実演をもっとやって！体を動かして楽しかった

健康・福祉

NPO法人 光輝
法輪功大和愛好者会
NPO法人 ナルク横浜
NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ想
ホットハンド
市民のための介護保険をつくる会

「カッコーフエスタを終えて」.....

今回は 企画段階から市民活動団体の皆さんに関わっていただき、センター主導では実現できないようなバラエティーに富んだイベントが実現しました。各活動団体の展示、大和商工会議所と共催したスタンプラリー、クイズや工作体験も大変好評でした。

また会場装飾には引地台中学校・美術部はじめ大勢の生徒さんがボランティアとして活動され、当日は魅力的なアーチや看板が多くの人を引き付けました。参加団体数は30を超え、約90名が活躍されました。1日目の雨にもかかわらず2日間で1000名が来場の賑わいでした。”市民活動団体と市民みんなの交流”の輪が広がり、市民活動がより身近に感じる楽しいイベントでした。 大和市民活動センタースタッフ 桑原裕之

「来年につなげるエール」.....

参加団体から「声をかけていただいてよかった！」と喜んでいただいた。今後も「おいにまきこんでいってほしい」との言葉。イベントとは巻き込んで、巻き込まれても、徹頭徹尾楽しんでやれること、これが試されることだと知らされた。祭りはひとりじゃできない。楽しむ術を持つ大人の集いであることが成功への道！！ 協働の拠点運営委員 小宮山利恵子

大和市協働事業提案 というのは、こんなもの

～大和市の協働～



協働事業提案の相談は、
協働の拠点「大和市民活動センター」まで

市民、市民団体、事業者そして行政のみんなが知恵や力を出し合いながら、地域社会の現場から公共の課題を発見し、共有し、解決していこうという「新しい公共」を創造する手段の1つである協働事業。

「地域に役立つ」あんなこと...。「社会に貢献する」こんなこと...。そんな想いの実現と人と地域がいきいきと呼吸する。この協働事業提案制度は、「想い」が人と人、そして人と地域を結んで、事業に繋げる可能性のある仕組みです。

大和市民経済部市民活動課 小林 仁

「協働事業提案」参考スケジュール

～来年度詳細が発表になり次第掲示します～

- | | |
|------------------|------|
| 1. 事前説明 | |
| 2. 登録 | |
| 3. 説明会 | 3月頃 |
| 4. 協働事業提案の募集 | 4～5月 |
| 5. 公開プレゼンテーション | 6月頃 |
| 6. 公開調整 | 6～7月 |
| 7. 公開討論会 | 7月頃 |
| 8. 協働推進会議提案 | |
| 9. 市長の検討結果報告会 | 8月頃 |
| 10. 事業実施に向けた個別協議 | |
| 11. 事業実施 | |
| 12. 事業評価・事業報告会 | |

センターからのお知らせ



大和市民活動センターの運営を担う「協働の拠点運営委員会」のメンバーを募集します。

同委員会は、市民・市民団体など、多くの皆さんの声をセンターの運営に反映させ、センター機能の充実を図るための組織です。ぜひご参加ください。

「大和市民活動センター」は『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』(以下「条例」)に定められた協働の拠点で、あらゆる分野の市民活動を推進・応援・共育(ともい)くする施設です。市と市民の協働事業として運営されています。

対象 市内に在住・通勤・通学し市民活動に参加したい人、または市内で市民活動している人。いずれも「共に育ちあえる、みんなが共生するまち大和市を実現」(「条例」前文)するために市民活動を推進していこうという意思のある人(16歳以上)を対象とします。

任期 2年(平成19年4月1日～21年3月31日)最長6年
報酬 無報酬 但し交通費実費

活動内容 運営会議(月1回)への出席、及び部会・委員会・イベントなどへの参画

募集人数 10名程度 (選考あり)

応募方法 2月10日(土)までに、応募用紙を直接 またはファックス、メールで市民活動センターへ

応募用紙は市民活動センターにあります。また、ホームページからも取り出せます。



熱血編集後記

「センター」の1年目は内部固め。2年目は外に向かつて行動。3年目は大和市の社会資源「発掘」。それを大和市に開花させたい。
小杉皓男

イベントに向けてセンターに足を運んだ数だけ人も運んだ。かくしてイベントの成功の一助となった。
めでたし、めでたし。さぞや、市民活動センターの在り様が多くの人に伝わったことだろう!と思いたい。
小宮山利恵子

9月からカツコフエスタの事務局窓口として忙しい日々。肝心の当日は風邪をひき、企画部隊のY君に風邪は終わってからひくものでしょう?と笑われました。ともあれフエスタに関わった皆さまお疲れさまでした!
桑原裕之

開館2年目で初めてセンター主催の大きな企画を2つ行うことができました。登録団体の皆さん、運営委員、市民活動課職員が共に考え、企画を練り上げてくれたことを感謝しています。この活動交流はセンターの宝となりました。ありがとうございました。
関根孝子

イベントが続いた十一月、駐車場の柿の木に実がなり、おいしく頂きました。柿が熟すのに合わせるようにセンター行事も深みを増して行きました。
中山みゆき

センターの開設二周年を記念するイベントが終了しました。市民活動団体に主導していただいたカツコフエスタでは、そのバイオリテーターとエネルギーには感服しました。この経験は必ずや明日につながるかと確信します。
間瀬富隆

一つ大きなイベントが続きました。市民活動が広がって「大きさ」も意識せず、次々に企画できる市民活動センターになって行く気になつてきました。
望月則男